（様式1）

学校番号	85	学校名	茨城県立古河第一高等学校

令和6年度道徳教育全体計画

諸法規

・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法
・学習指導要領
・いばらき教育プラン
・学校教育指導方針

校訓

高潔至誠、質実剛健、協同自治

学校の教育目標

・学習指導体制の確立
・生活指導の徹底
・広報活動の推進
・進路指導体制の構築
・特別活動等の充実
・働き方改革の推進

生徒の実態

・基本的生活習慣が身に付いており、欠席・遅刻・早退が少ない。
・授業態度や課題の提出状況は良く、学習に対して意欲のある生徒が多い。
・文化部・運動部問わず積極的に部活動に参加する生徒が多い。

保護者の願い

・頭髪服装に関する指導の徹底
・進路実現
・学校教育の活性化

道徳教育重点目標

・基本的生活習慣を確立させ、節度を守り、落ち着いた学校生活が送れるようにその実現に努めさせる。
・時と場に応じた適切な言葉遣いが出来るなどのマナーを身に付けさせる。
・生命の尊さを理解し、命を大切にする心を育てる。
・本校の一員としての自覚と責任を持ち、よりよい校風を築く。

地域の実態

・県の西端に位置し人口密度が高い。
・東京・埼玉に通勤している保護者も多い。

各教科・科目

国語	様々な文章の読解・表現を通して、社会や自己を見つめ直し、よりよい人間形成をはかる。
地歴	人間の歴史の展開・国際社会の理解など公民的資質の基礎を理解し、人間としての倫理観を育成する。
数学	筋道を立てて考え、判断し、説明する力を養い、状況に応じた行動に役立てる。
理科	自然の大切さを様々な理を学ぶことから理解していく。
保体	主体的な経験を通じて、心身の健康や集団生活に必要な態度を養う。
芸術	様々な表現を通して、芸術を愛好する心情を育てる。
外国語	語学学習を通して、国際理解、国際協力、国際貢献について学ぶ。
家庭	保育・家庭を学ぶことにより、他の人々に対する感謝と思いやりの心を育てる。
情報	情報モラルを通して、道徳的実践力となる社会の規範意識の高揚をはかる。
総合的な探究の時間	SDG'sの学習を通して、持続可能な社会について考え、自己の在り方生き方を見直す。
専門	ビジネスマナーなどを通して、社会規範の意識を高める。

特別活動

ホームルーム活動

①学校行事
　クラスマッチ、文化祭など生徒主体の行事を通して自己の役割を自覚し、責任を果たす事を学ばせる。
　体験活動（奉仕作業、企業・大学見学会など）を通して、社会人になるにあたり、必要な規範意識を高める。
②学級活動
　自己の役割を自覚し、責任を持って解決ができるような、健全な生活態度を育てる。

生徒会活動
　生徒一人ひとりが生徒会の構成員であることを自覚し、生徒自らがよりよい集団生活・社会生活を築こうとする態度を育成する。

公民科

公共

国際社会の諸問題の学習を通して、広い視野に立ち国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

生徒指導

・毎月1回の学年集会等における頭髪、服装指導
・生徒指導強化週間
・登校時の遅刻指導
・交通講話や薬物講話の実施
・自転車点検

家庭との連携

・家庭の道徳的教育力の向上を図る。（三者面談等の実施）
・成績並びに生活指導において、保護者と連携を取って指導を行う。
・PTA役員と共に生徒への登校指導を行う。

地域社会との連携

・学校周辺の清掃などの奉仕作業を行う。
・学校開放日を設定し、地域社会に学校の様子を公開する。
・ボランティア活動やインターンシップなどを通して、社会の常識を学び、コミュニケーション能力の向上を図る。
・ゲストティーチャーによる講話を通じて、道徳的心情等の大切さを学ぶ。